

## 教員養成の目標を達成するための計画

### 【教育学部 教育学科】

免許種	内容
幼稚園一種 小学校一種	<ul style="list-style-type: none"> <li>各授業科目に、演習や実習要素をできるだけ多く取り入れる。</li> <li>免許種の教職課程科目以外にも、教育現場で広く必要とされる知識を身につけるため、「学校保健」や「特別支援教育」を卒業必修科目に位置づける。</li> <li>1年次の幼稚園・小学校見学実習、2年次前期の学校インターンシップは全員に参加を義務づけ、早い段階から教育現場での体験を積み重ねる。学校インターンシップは、2年次後期以降も継続的に行うことを推奨する。</li> <li>地域の学校園での、補習指導や放課後学級のボランティア活動を推奨する。</li> </ul>
中学校一種（保健体育） 高等学校一種（保健体育）	<ul style="list-style-type: none"> <li>各授業科目に、演習や実習要素をできるだけ多く取り入れ、1年次から医学的知見を修得する科目を配置する。</li> <li>免許種の教職課程科目以外にも、教育現場で広く必要とされる知識を身につけるため、「学校保健」や「特別支援教育」を卒業必修科目に位置づける。</li> <li>1年次のスポーツ関連機関見学実習、2年次前期の学校インターンシップは全員に参加を義務づけ、早い段階から教育現場での体験を積み重ねる。学校インターンシップは、2年次後期以降も継続的に行うことを推奨する。</li> <li>地域の高等学校と連携し、スポーツを通じた地域コミュニティづくりへの参画、体験プログラムを、「フィールドワーク」として科目化する。</li> <li>地域の学校やスポーツ教室での、ボランティア活動を推奨する。</li> </ul>
特別支援一種 (知的障害者・肢体不自由者・病弱者に関する教育領域)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各授業科目に、演習や実習要素をできるだけ多く取り入れる。</li> <li>2年次前期の学校インターンシップは全員に参加を義務づけ、早い段階から教育現場での体験を積み重ねる。学校インターンシップは、2年次後期以降も継続的に行うことを推奨する。</li> <li>地域の学校園の、特別支援学級や発達障害児童・生徒の補習対応などのボランティア活動を推奨する。</li> </ul>
養護教諭一種	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健体育科教諭免許状科目と特別支援教諭免許状科目との内容連繫を深め、地域の小・中・高等学校への健康科学支援や地域社会の健康・スポーツ文化支援を行う。</li> <li>今日の教育的諸問題に関する具体的事例を学ぶとともに、問題解決能力向上のため、集団討論やディベート等を活用する。</li> </ul>